

報道各社御中 ← 環境省広報室

(情報提供)

島根県の国指定宍道湖鳥獣保護区における高病原性鳥インフルエンザ  
ウイルス・強毒タイプの確認について

以下に現時点における情報を提供します。

本日、国指定宍道湖鳥獣保護区（島根県松江市）において回収されたキンクロハジロ1羽及びホシハジロ1羽について、詳細検査の結果が判明し、高病原性鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプが確認されたとの報告が鳥取大学からありました。経緯等は以下の通りです。

○キンクロハジロ1羽(2月1日回収。簡易検査陰性。国立環境研究所における遺伝子検査は陽性。)について、本日、鳥取大学における確定検査においてH5N1亜型・強毒タイプと判明。

○ホシハジロ1羽(2月8日回収。簡易検査陰性。国立環境研究所における遺伝子検査は陽性。)について、本日、鳥取大学における確定検査においてH5N1亜型・強毒タイプと判明。

環境省は、関係府省、島根県等と連携して、レベル3の取組を引き続き推進してまいります。

【取材について】

○現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。

平成23年3月8日(火)

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

室 長：宮澤 俊輔 (内線6470)

室長補佐：山本 麻衣 (内線6471)

専 門 官：福嶋 貢史 (内線6474)

担 当：千葉 康人 (内線6473)